



2020年5月11日

各 位

会社名 株式会社スズケン
代表者名 代表取締役社長 宮田 浩美
(コード番号 9987 東証・名証第1部、札証)
問合せ先 取締役副社長執行役員
コーポレート本部長 浅野 茂
(TEL. 052-961-2331)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応 医療機関向け問診サービス「AI 問診 Ubie」の共同展開に関するお知らせ

～来院前・来院直後・院内トリアージのサポートにより、院内感染リスクの低減に貢献～

当社は、2020年4月28日に資本業務提携を締結した Ubie 株式会社（以下、「Ubie」といいます。）が開発した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対応した医療機関向け問診サービス「AI 問診 Ubie」を共同展開しますので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 共同展開の背景

「AI 問診 Ubie」は、従来の医療機関が使用してきた紙の問診票のかわりにタブレットを活用した医療機関向け問診サービスです。約5万件の医学論文から抽出されたデータに基づき、約3,500種類の質問データからAIが最適な項目を抽出し、タブレットで20個前後の質問を表示します。1,000近い病名から関連性のある複数の病名を病名辞典より表示します。患者さまの入力データは即時に電子カルテに送信され、電子カルテに記載を行う事務作業が大幅に削減されることから業務の効率化や医師の働き方改革にも繋がり、より患者さまに向き合い、診療に集中できるようになります。

この度、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応として、来院前問診を医療機関のホームページ上から提供可能とし、来院直後や院内での感染の疑いに応じたトリアージ*をサポートする機能を新たに追加しました。これにより患者さまの受診行動の各タイミングに応じた問診が可能となり、医療機関は院内感染のリスクを抑えながら外来機能を維持していくことが期待できます。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が拡大している未曾有の状況下において、安心・安全な日本の医療体制維持に寄与すべく、「AI 問診 Ubie」を必要としている医療機関への普及に向けて、医薬品卸においては当社グループが医薬品卸業界で唯一のパートナーとして推進してまいります。

すでに41都道府県、約200施設の医療機関に導入されていますが、スズケングループが保有する全国の医療機関へのネットワークやMS（営業担当者）による営業機能を駆使し、Ubieと連携しながら早期に必要な医療機関へのサービス提供およびサポート体制の構築に努め、感染症の拡大防止に寄与してまいりたいと考えております。

今後もスズケングループは、協業するデジタル企業とともに新たな医療情報プラットフォームを構築し、新たなソリューションを提供することで、社会に貢献してまいりたいと考えております。

※トリアージ：患者の重症度に基づいて治療の優先度を決定し、選別を行うこと



2. 問診サービス「AI問診 Ubie」の活用について

患者さまの受診行動に合わせた問診が可能となります。

①来院前

医療機関のホームページ上などから来院前問診を可能にします。患者がスマートフォンやパソコンで回答した内容を医療機関が事前に確認して、適切に受診案内できるようになります。この時点で事前確認により支援できることが最も効果的かつ理想的です。

②来院直後

来院直後の患者が院内に立ち入る前に問診を可能にします。患者が自身のスマートフォンを用いる形式のほか、スマートフォンをお持ちでない患者さまには「AI問診 Ubie」専用タブレットから問診が可能となります。これまで医療機関が院外にテントを設置したりドライブスルー方式を導入したりするなど、人的・経済的なリソースが大きく割かれていましたが、事前確認をせずに来院した患者を、より簡易な形で確認をサポートします。

③院内

待合室で患者が問診に回答した際、COVID-19に関連する症状が含まれている場合は事務や医師にアラートを送ります。これにより、感染疑いの患者を院内の個室に案内するなど、十分な感染対策を行うことで、院内感染リスクを低減することが可能となります。

<ご参考：本サービスの概略図>

患者の受診行動に合わせた「3段階のCOVID-19トリアージ支援」を提供

| | 家でも | 医療機関のそばでも | 待合室でも |
|---------------|---|--|---|
| 従来の課題 | 過度な受診控えや、問い合わせ殺到による医療機関の事務負担増 | 来院前の確認を経ずに患者が受診した場合の感染拡大防止対策が必要 | 診察室に入る前にも水際で検知し、多層的に対策する必要 |
| 今回の取組み | 導入医療機関のホームページ等から事前のAI問診が可能に | 来院直後の患者が院内に立ち入る前にスマホ等でのAI問診を可能に | タブレットのAI問診でCOVID-19関連症状有の場合、医療者に注意喚起 (今年4月より「院内トリアージ実施科」加算対象) |
| 参考イメージ | <p>次のような症状はありますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 体温が普段より高い <input type="checkbox"/> 鼻水が出る <input checked="" type="checkbox"/> たんが出る <input checked="" type="checkbox"/> 喉が痛い <input type="checkbox"/> 周囲に同じような症状の人がいる <input type="checkbox"/> 副熱けがする <p>近隣の医療機関への受診をおすすめします</p> <p>次の症状に該当して検知しています</p> <ul style="list-style-type: none"> 発熱による気管が炎症 喉の腫れ 心臓の腫れが著しい <p>新型コロナウイルス感染症に関連する症状が検知されています</p> | <p>事前の受診相談の流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> 「事前問診受付番号」を手元にメモしてください 事前問診受付番号 123456 事前に必ず電話をお願いします 電話をかけた後「事前問診受付番号」等を担当者に伝えてください 電話をかける 医療機関の担当者の案内に従ってください | <p>COVID-19が疑われる症状が回答されました</p> <p>※病名予測ではなく、患者さんの早期発見・院内での早期対策を目的としています</p> <p>強い倦怠感、息苦しさ、嗅覚障害・30歳（訂正）・男性（訂正）</p> |

3. Ubie 株式会社について

「テクノロジーで人々を適切な医療に案内する」ことを目指し、医師とエンジニアが 2017 年 5 月に創業したヘルステックスタートアップ企業です。AI をコア技術とし、医療現場の業務効率化を図る AI 問診プロダクト「AI 問診 Ubie」と、生活者の適切な受診行動をサポートする事前問診サービス「AI 受診相談ユビー」を開発・提供。医療情報格差をなくし、誰もが自分にあった医療にアクセスできる社会づくりを進めてまいります。

| | | |
|-----|--------|--|
| (1) | 名称 | Ubie 株式会社 |
| (2) | 所在地 | 東京都中央区日本橋室町一丁目 5 番 3 号 福島ビル 6 階 601 号 |
| (3) | 代表者 | 代表取締役 阿部 吉倫 代表取締役 久保 恒太 |
| (4) | 事業内容 | ソーシャル医療プラットフォーム事業 |
| (5) | 設立年月日 | 2017 年 5 月 |
| (6) | ホームページ | https://ubie.life/ https://introduction.dr-ubie.com/ |

4. 日程

共同展開開始日 2020 年 5 月 11 日

5. 今後の見通し

本件に伴う業績への影響は軽微なもの見込んでおりますが、中長期的には当社グループの企業価値向上に資するものと考えております。今後、適時開示の必要性が生じた場合には速やかに開示いたします。

以 上